



# 岡一だより

学区・保護者配付  
平成24年3月1日  
新潟市立岡方第一小学校  
第19号

## 「伝統」を引き継ぐ

校長 早川 久吾

こんな、「ちょっといい話」があります。

ある家族が、お父さんの転勤の都合で引っ越しをすることになりました。これまでお世話になった家を家族みなでお掃除をしました。お部屋も壁も畳もピカピカになりました。最後に庭に色々な花の種をまきました。

子どもたちは、引っ越ししてしまうのに花の種をまくのはどうしてだろうとお父さんに尋ねました。

すると、お父さんは、「私たちもこの家に引っ越してきた時に、花がいっぱい咲いていて気持ちよかっただろう。今度は、私たちがお返しする番だよ。」と言って花の種をまきました。

この家は、お父さんの会社の社宅でした。だから、転勤する人が次から次と入れ替わるのです。どの家の人たちも同じように掃除をし、花の種をまいていきました。ですからこの社宅は、いつでもきれいな花が咲いていました。

当校の児童会に伝統として引き継がれているものに、「**思いやり、助け合い、声をかける**」という合言葉があります。

この言葉は、児童会活動に励む子どもたちに、先輩から代々引き継がれている「合言葉」です。私は、1年前、東日本大震災からまだ日の浅い4月はじめに、児童会の「1年生を迎える会」ではじめてこの言葉を聞きました。当時、誰の心にも震災や津波、原発事故の被災地を思う気持ちが広がっていました。そんな時この言葉が、人の振る舞いとして何と尊い、すてきな言葉だろうと私の心に響きました。「**思いやり、助け合い、声をかける**」という振る舞いが被災地に広がったらどんなにか、生きる励みになるだろうと想像したのです。

当校の6年生は、「**思いやり、助け合い、声をかける**」を合言葉に、登校班、縦割班、児童会活動などで、下級生のリーダーとして活躍してきました。この合言葉も、児童会の活動も、代々の6年生がやってきてくれたことで、「6年生になったらそうするもんだ」という思いがあるかもしれません。しかし、このようなことは、きちんと毎年引き継がれていかないと花は枯れ、途絶えてしまうものです。引き継がれていくことが、「伝統」です。

岡一小の6年生は、すばらしい「伝統」という花を残して間もなく卒業です。私たちは、「伝統」という花を引き継ぎます。そして、次の年にはもっと大きな花にして次の子どもたちに引き継ぎたいと思います。



2/24 6年生へ、お礼のメッセージづくり

## 入賞おめでとう



### <新潟県児童生徒絵画・版画コンクール>

#### <新潟市北区ジュニア絵画展>

優秀賞 4年 W.T.  
特選 1年 S.S.  
6年 H.T.

特選 1年 S.T.  
金賞 1年 A.K.  
2年 H.H. 2年 H.Y.  
3年 S.R. 3年 K.N.  
4年 Y.O. 4年 G.Y.



### PTA総会への多数の参加ありがとうございました。

2月23日(木)今年度最後の授業参観・後期PTA総会・学級懇談会がありました。大雪の後、寒さがゆるんだため、駐車場がぬかるんで大変な中、多くの方から参加いただきありがとうございます。

授業参観では、学習のまとめとして、4年生の1/2成人式をはじめとし、多くの学年で子どもたちの発表が計画されていました。保護者の皆様に見ていただくことで充実した発表とすることができました。感謝申し上げます。



1年生は全員で一年間の思い出について発表しました。



2年生は一人一人が保護者に御礼の言葉を発表しました。



6年生は一人一人が、将来の夢等を、全体の前で発表しました。



全体保護者会

全体保護者会では、来年度の取組について校長より、次の3点について説明いたしました。

- ① 来年度の運動会は土曜開催とすること。
- ② 学力向上の取組として、「学び合い」に取り組むこと。
- ③ 百四十周年を迎えるので、地域や保護者の皆様から、岡方第一小学校をもっともっと好きになってもらえるような取組をしたいこと。

百四十周年については実行委員会で話し合っています。続くPTA総会では、24年度の役員が承認されました。新会長から、

「PTAとして、子供たちの思い出に残る百四十周年にしたい。会員の皆様の協力を得て、お金をかけずに充実した百四十周年を作っていきたい。よろしくお願いします。」というあいさつがありました。



PTA総会